

## よくある質問について

Q. 採血するときは食事を抜く必要がありますか？

A. 食事が検査結果に影響する場合がありますので、検査前の食事に関しては必ず主治医の指示に従ってください。初診時は、できるだけ食事をせずに来院して下さい。

Q. 絶食で採血する場合、水や薬も飲んではいけないのですか？

A. 水分を取らないように指示された場合以外は、少量の水は差し支えありません。（炭酸水・ジュース・乳飲料は不可）薬については主治医に確認して下さい。

Q. なぜ何本も採血するのですか？

A. 検査の種類によって、必要な採血管が違うからです。採血管の中には薬が入っており、検査の種類によって使い分けが必要なため、採血管の本数が増えることになります。

Q. 血液が黒い気がするのですが……

A. 採血は静脈からおこないますので、黒っぽく見えます。血液は肺で酸素を受け取り、赤い動脈血となり、体内で酸素が使われて黒っぽい静脈血となります。

Q. ピロリ菌（呼気試験）検査はどのように検査するのですか？

A. ピロリ菌とは、胃の粘膜にすみつく細菌で胃炎・胃潰瘍などの胃の病気に深くかかわります。検査用錠剤を服用する前と、後の呼気にて検査します。最低でも4時間程の絶飲食が必要です。胃酸分泌を抑える胃薬を服用の場合、休薬が必要です。

Q. 尿量はどのくらい必要ですか？

A. 約 50ml あると十分に検査ができます。

Q. 心電図検査で感電はしますか？痛みはありますか？

A. 心電図は、心臓が動いたときに発生する微弱な電流を記録します。機械から電気を流すわけではありませんので、感電したり、痛みを感じることはありません。緊張したり、力が入ってしまうと筋肉から発生する電流が混じり、きれいに記録できませんので、検査中はリラックスして受けて下さい。

Q. 腹部エコー検査は、なぜ絶食しなければいけないのですか？

A. 食事により胆嚢が収縮し、検査が困難になります。また、胃に食べ物が充満し、胃の裏側にある膵臓が観察しにくくなります。検査前の5～6時間は飲食を避けてください。少量のお水は飲んでかまいません。(炭酸水・ジュース・乳飲料は不可) 薬については主治医に確認して下さい。心エコー、血管エコー、乳腺エコーなどは食事制限がありません

Q. 腹部エコー前にトイレに行かない方がいいのはどうしてですか？

A. 膀胱が収縮し、検査が困難になります。

Q. エコー検査で痛みはありますか？

A. エコー検査は、機械を体に直接当てて検査を行いますので、それによる多少の圧迫感がありますが、超音波による痛みはありません。圧迫による痛みがある場合はその場で技師に申し付け下さい。

Q. エコー検査で複数の技師に交代で検査されたが、悪いところがあったのですか？

A. 結果の良悪とは無関係です。見えにくい部位があった場合、複数の検査者で確認させていただくことがあります。ご理解とご協力をお願い致します。もしご不安な点がございましたら、担当技師までお気軽にご相談ください。

Q. エコー検査で後から来た人の方が先に呼ばれたのですが？

A. 検査の種類によって順番が前後することがあります。

Q. 乳がん検診のとき、エコー検査とマンモグラフィー検査はどちらかだけでいいですか？どちらが優れていますか？

A. エコー検査とマンモグラフィー検査は、検査原理が異なるため、それぞれの得意な対象が異なります。そのため出来るだけ両方の検査をお勧めいたします。

エコー検査：痛みをを伴わず、妊娠中や授乳中の方でも検査可能です。乳腺濃度に影響されず、腫瘍の検出および質的診断に優れています。

マンモグラフィー検査：乳癌の特徴の一つである微細石灰化の検出に優れています。

Q. 乳腺エコー検査は女性技師が担当していますか？

A. はい。女性技師が対応しています。

❀生理機能検査にて女性技師ご希望の方は、遠慮なくスタッフにお申し付けください。